

項目		総評
1 職員配置・育成	(1)職員の確保・配置	職員配置が計画通りに行われており、施設運営及び事業実施に支障はない。 職員の育成については、研修計画を作成し、計画に沿って職員の資質向上を図るための研修等が適切に実施されている。
	(2)職員の育成	
2 施設の管理運営	(1) 施設・設備の管理、維持保全及び修繕の実施	建物・設備等の維持管理については、基本協定書に基づき、各種点検を実施し、適切に保守管理が行われている。点検結果を踏まえた修繕計画を作成し、計画に沿って修繕が実施されている。
	(2)防災、事件・事故対応等の取組	事件・事故等の防止及び対応体制等については、マニュアルを作成し、職員へ周知されている。 施設・設備の提供について、平日昼間については稼働率目標を達成している。一方で、全日の稼働率については稼働率目標には届かなかった。稼働率向上のために、大量予約とキャンセルを繰り返す団体に対して申し入れを行い、予約状況が改善されたことについては評価できる。また臨時の空き室が出た場合は、臨時空き室情報をホームページに掲載する対応を行った。引き続き、全日での稼働率目標達成のための対応策の検討と実施を期待する。
	(3) 施設・設備の提供（研修室、実習室、和室）	貸室の広報活動については、研修受講者へのちらし配布や貸会議室検索サイトへの掲載等、対象者に情報が届くよう多様な媒体を活用して計画的な広報活動を行った。
	(4) 広報・利用促進計画	情報資料室については、LINEやメールマガジン、区役所や図書館等へのちらし配架等の多様な手段を用いた周知を行った。稼働率が低い実習室等について、部屋の設備や備品の情報をホームページに掲載し、利用促進を図っている。
	(5) 利用者のニーズ・要望・苦情への対応	利用者ニーズへの対応については、施設内やホームページに利用者からの意見・要望を受け止める仕組みを整備し、ご意見・対応結果については職員間で共有されている。定期的に窓口満足度調査や利用者アンケート等を実施し、ニーズ把握に努めている。利用者の意見を踏まえて、Wi-Fi設置や椅子・備品等の更新を図ったことは評価できる。
	(6) 個人情報保護・情報公開	個人情報保護・情報公開については、基本協定書等に基づき、適切に実施されている。
3 事業の企画・実施	(1) 人材育成事業（福祉、保健等に関する研修会、講習会等） 《研修体系及び研修プログラム》	研修の企画にあたっては、研修実施機関連絡会等での情報収集や福祉事業所へのヒアリング、研修参加者へのアンケートのほか、学識経験者、職能団体、行政等の外部委員で構成する研修委員会での意見を踏まえ、研修計画の立案を行った。その結果、研修の受講者アンケートで高い満足度につながっている。 研修の周知にあたっては、福祉事業所への研修案内の送付のほか、メールマガジンやLINE等を活用して研修情報を周知した。また、研修情報サイト（ハマ・キャリア・ネット）の再構築を進め、登録者に最新の研修情報をお知らせできる仕組みを整え、研修情報の周知を行った。
	(2) 人材育成事業（福祉、保健等に関する研修会、講習会等） 《関係機関等との連携》	関係機関等との連携においては、大学や専門学校、NPO法人、職能団体等と連携し、研修に関する情報発信や人材育成に関する情報交換等を実施した。さらなる広報や人材確保・定着・育成の情報交換や相互協力の拡大を期待する。
	(3) 福祉、保健等に関する情報の収集、及び提供	福祉、保健等に関する情報収集・提供について、研修実施機関としての利点を活かし、図書資料のニーズ把握のための受講者へのアンケートや研修に関連したおすすめ本の紹介等を行った。また、保健師による保健医療分野の図書資料収集や専門図書の分類を利用者にわかりやすいよう整理を行った。ウィリング横浜の強みを活かした、さらなる情報収集・提供の取組を期待する。
	(4) 福祉、保健等に関する調査研究	調査・研究について、福祉事業所が内部研修開催や研修受講にあたって必要な最新の福祉の動向や施策の情報提供のため、福祉保健関連の調査研究報告等のリンク集を作成し、ホームページに掲載を行った。
	(5) 福祉、保健等に関する人材確保・定着支援事業	人材確保・定着支援のために、福祉保健関係者のためのこころの相談室を実施したほか、カウンセリングや受講者アンケート等からみられる傾向をもとに、働きやすい職場づくりをテーマとした研修を実施した。多くの主催研修ではグループワークを中心とした研修を実施し、受講者同士の交流を行うことで、福祉保健従事者のネットワークづくりや交流の促進を図っている。
	(6) 地域福祉保健活動の推進のための人材育成事業	地域での福祉保健人材の確保・育成に向けて、組織運営を学ぶ研修を実施した。
4 ウィリング横浜の特色を生かした事業	(1) ウィリング横浜の特色を生かした事業 ※ 研修プログラム等の事業内容のみではなく、施設内の各スペースの有効活用策も含む	交流スペースのデジタルサイネージやYoutubeを活用し、福祉事業所の人材確保に向けた動画放映を行った。今後も、さらなる取組の検討を期待する。

※評価項目及び評価内容は、「福祉保健研修交流センターウィリング横浜 指定管理者公募要項」（令和4年6月）に準拠している